

平成26年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成26年10月28日

上場会社名 協和発酵キリン株式会社

上場取引所 東

コード番号 4151 URL <http://www.kyowa-kirin.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 花井 陳雄

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 コーポレートコミュニケーション部長 (氏名) 諸富 滋 TEL 03-3282-0009

四半期報告書提出予定日 平成26年11月7日 配当支払開始予定日 -

四半期決算補足説明資料作成の有無： 有

四半期決算説明会開催の有無： 有（機関投資家、証券アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年12月期第3四半期の連結業績（平成26年1月1日～平成26年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年12月期第3四半期	238,936	△5.2	26,277	△36.5	23,800	△39.3	12,036	△48.4
25年12月期第3四半期	252,103	3.0	41,409	10.9	39,203	20.3	23,323	51.1

(注) 包括利益 26年12月期第3四半期 15,137百万円 (△58.8%) 25年12月期第3四半期 36,768百万円 (100.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年12月期第3四半期	21.99	21.97
25年12月期第3四半期	42.61	42.58

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年12月期第3四半期	730,396	595,921	81.5
25年12月期	719,257	595,415	82.6

(参考) 自己資本 26年12月期第3四半期 595,610百万円 25年12月期 593,957百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年12月期	-	12.50	-	12.50	25.00
26年12月期	-	12.50	-		
26年12月期（予想）				12.50	25.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 平成26年12月期の連結業績予想（平成26年1月1日～平成26年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	336,000	△1.4	43,000	△16.9	35,000	△29.3	18,000	△40.2	32.89

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
(注) 詳細は、添付資料4ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年12月期3Q	576,483,555株	25年12月期	576,483,555株
② 期末自己株式数	26年12月期3Q	29,138,501株	25年12月期	29,143,513株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年12月期3Q	547,352,905株	25年12月期3Q	547,402,840株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 平成26年7月30日に公表いたしました連結業績予想について、本資料において修正しております。
2. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間（平成26年1月1日から9月30日までの9か月間）の売上高は2,389億円（前年同期比5.2%減）、営業利益は262億円（同36.5%減）、経常利益は238億円（同39.3%減）、四半期純利益は120億円（同48.4%減）となりました。

- ◎ 売上高及び営業利益は、4月に実施された薬価基準の引下げの影響や技術収入の減少により減収減益となりました。
- ◎ 経常利益も減益となり、四半期純利益は、前年計上した関係会社株式売却益等がなくなった影響もあり減益となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

医薬事業

① 業績

医薬事業の売上高は、1,786億円（前年同期比7.3%減）となり、営業利益は206億円（同44.2%減）となりました。

- ◎ 国内の医療用医薬品の売上高は、4月に実施された薬価基準の引下げの影響等により前年同期を下回りました。
 - ・主力品である腎性貧血治療剤「ネスプ」は堅調に推移しており、平成24年12月発売の液量統一品の出荷反動による減少のあった前年同期に比べて、売上高が上回りました。一方、抗アレルギー剤「アレロック」、抗アレルギー点眼剤「パタノール」は花粉飛散量が少なかったことに加えて、「アレロック」については薬価改定影響やジェネリック医薬品の浸透が進んだ影響もあり、売上高が前年同期を下回りました。
 - ・パーキンソン病治療剤「ノウリアスト」、二次性副甲状腺機能亢進症治療剤「レグパラ」、癌疼痛治療剤「アブストラル」、経皮吸収型持続性疼痛治療剤「フェントス」、潰瘍性大腸炎治療剤「アサコール」等は順調に伸長しました。
 - ・尋常性乾癬治療剤「ドボベット」をレオファーマ社と共同で9月に発売しました。
- ◎ 医薬品の輸出及び技術収入は、輸出が堅調に推移したものの、技術収入の減少により、売上高は減少しました。
- ◎ ProStrakan社は、癌疼痛治療剤「Abstral」等の主力製品が順調に伸長しました。なお、8月5日にArchimedes社を買収したため、当第3四半期連結累計期間の連結業績には、同社及びその子会社12社の8月5日から9月30日までの業績が含まれております。その結果、ProStrakan社（Archimedes社連結後）の売上高は214億円（前年同期比28.1%増）、営業利益（のれん等償却後）は4億円（前年同期比230.7%増）となりました。

② 研究開発

腎カテゴリー

(国内)

- ・カルシウム受容体作動薬「レグパラ」の12.5mg製剤の承認申請を3月に行いました。
- ・カルシウム受容体作動薬KHK7580の二次性副甲状腺機能亢進症を対象とした後期第Ⅱ相臨床試験を8月に開始しました。
- ・2型糖尿病を合併する慢性腎臓病を対象としたRTA402の開発方針を7月に決定し、今後、新たな第Ⅱ相臨床試験を開始することとしました。

(海外)

- ・中国においてカルシウム受容体作動薬Cinacalcet Hydrochloride（日本製品名「レグパラ」）の承認を6月に取得しました。

がんカテゴリー

(国内)

- ・「レグパラ」の副甲状腺癌における高カルシウム血症、副甲状腺摘出術不能又は術後再発の原発性副甲状腺機能亢進症における高カルシウム血症の効能・効果及び用法・用量追加の承認を2月に取得しました。
- ・抗CCR4ヒト化抗体「ボテリジオ」の再発又は難治性のCCR4陽性の末梢性T細胞リンパ腫並びに皮膚T細胞性リンパ腫の効能・効果追加の承認を3月に取得しました。
- ・持続型G-CSF製剤「ジーラスタ」のがん化学療法による発熱性好中球減少症の発症抑制に対する承認を9月に取得しました。
- ・腎性貧血治療剤「ネスプ」の骨髄異形成症候群に伴う貧血を対象とした承認申請を3月に行いました。
- ・「ボテリジオ」の初発未治療のCCR4陽性の成人T細胞白血病リンパ腫の効能・効果及び用法・用量追加の承認申請を2月に一旦取り下げましたが、6月に再度申請を行いました。
- ・ソラフェニブ治療歴を有するc-Met高発現の切除不能肝細胞癌を対象としたARQ197の第Ⅲ相臨床試験を2月に開始しました。
- ・欧米で実施している再発又は難治性皮膚T細胞性リンパ腫を対象としたKW-0761（日本製品名「ボテリジオ」）の効果と安全性を評価する第Ⅲ相臨床試験の実施国として4月に日本を追加しました。

免疫・アレルギーカテゴリー

(国内)

- ・抗IL-5受容体ヒト化抗体KHK4563の喘息を対象とした第Ⅲ相臨床試験を、ライセンス導出先であるアストラゼネカ社が実施中の国際共同試験計画の一環として、日本及び韓国において4月に開始しました。

中枢神経カテゴリー

(国内)

- ・抗てんかん剤「トピナ」の新剤形（細粒剤）追加の承認を1月に取得し、5月に発売しました。

その他

(国内)

- ・遺伝子組換えアンチトロンビン製剤KW-3357の承認申請を7月に行いました。

(海外)

- ・欧米において抗線維芽細胞増殖因子23完全ヒト抗体KR N23の小児X染色体遺伝性低リン血症性くる病を対象とした第Ⅱ相臨床試験を7月に開始しました。

バイオケミカル事業

バイオケミカル事業の売上高は、627億円（前年同期比1.9%増）となり、営業利益は56億円（同25.6%増）となりました。

(国内)

- ◎ 医薬・医療領域の売上高は前年同期を上回りました。
 - ・医薬・医療領域では、ジェネリック医薬品原薬が伸長しました。
- ◎ ヘルスケア領域の売上高は、夏場の天候不順もあり飲料用途のアミノ酸は前年同期に比べ減少しましたが、「オルニチン」をはじめとする通信販売事業は前年同期を上回りました。

(海外)

- ◎ 海外事業の売上高は、為替の円安進行もあり前年同期を上回りました。
 - ・米国では、サプリメント向けのアミノ酸が伸長したことや為替の円安進行もあり、売上高は前年同期を上回りました。
 - ・欧州では、輸液用アミノ酸等の一部製品で顧客の生産計画の影響から販売数量が前年同期を下回りましたが、為替の円安進行もあり売上高は前年同期を上回りました。
 - ・アジアでは、中国での輸液用アミノ酸で、顧客が新薬事規制への対応中のため一時的に需要が減少しましたが、為替の円安進行もあり前年同期並みの売上高となりました。

(2) 財政状態に関する説明

- ◎ 総資産は、前連結会計年度末に比べ111億円増加し、7,303億円となりました。
 - ・流動資産は、棚卸資産等の増加がありましたが、親会社への短期貸付金や受取手形及び売掛金等の減少により、前連結会計年度末に比べ335億円減少し、2,957億円となりました。
 - ・固定資産は、有形固定資産等の増加に加えて、Archimedes社の買収に伴うのれん及び販売権等の無形固定資産の増加により、前連結会計年度末に比べ446億円増加し、4,346億円となりました。
- ◎ 負債は、未払金や未払法人税等の減少に加えて、現金190億円の退職給付信託への拠出に伴う退職給付引当金の減少がありましたが、コマーシャル・ペーパー300億円の増加により、前連結会計年度末に比べ106億円増加し、1,344億円となりました。
- ◎ 純資産は、配当金の支払い等の減少要因もありましたが、四半期純利益の計上や為替換算調整勘定等の増加により、前連結会計年度末に比べ5億円増加し、5,959億円となりました。この結果、当第3四半期連結会計期間末の自己資本比率は、前連結会計年度末に比べ1.1ポイント低下し、81.5%となりました。

(参考) Archimedes社の買収に伴う企業結合会計処理

Archimedes社買収に伴う平成26年8月5日現在における暫定的な企業結合会計処理による同社及びその子会社12社の資産等の時価評価及び取得原価の配分結果の概要は、以下のとおりであります。

	資産等の時価評価及び取得原価の配分結果	償却方法及び償却期間
無形資産（販売権等）	152.3百万ポンド	個別に設定した償却期間（4.7～17.4年）で均等償却
棚卸資産（評価アップ分）	4.2百万ポンド	簿価5.1百万ポンド→時価評価9.4百万ポンド
借入金	△129.2百万ポンド	
その他の資産及び負債（純額）	△2.3百万ポンド	
のれん	72.9百万ポンド	12年で均等償却
取得原価（合計）	98.1百万ポンド	

注. 現時点において取得原価の配分が完了していないことから、入手可能な合理的な情報に基づき、暫定的な会計処理を行っております。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想につきましては、Archimedes社の買収に伴う影響等を踏まえて修正いたしました。
平成26年7月30日に公表した通期の連結業績予想との差異は以下のとおりであります。
(通期)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益	
	百万円	百万円	百万円	百万円	円	銭
前回発表予想 (A)	337,000	45,000	37,000	20,000	36	54
今回修正予想 (B)	336,000	43,000	35,000	18,000	32	89
増減額 (B - A)	△1,000	△2,000	△2,000	△2,000	—	
増減率 (%)	△0.3	△4.4	△5.4	△10.0	—	
前期実績	340,611	51,773	49,502	30,078	54	95

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

なお、特定子会社の異動には該当しておりませんが、当第3四半期連結会計期間において、Archimedes Pharma Limitedの全株式を取得したため、同社及びその子会社12社を連結の範囲に含めております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	20,190	17,353
受取手形及び売掛金	98,602	91,250
商品及び製品	50,863	64,787
仕掛品	13,465	14,461
原材料及び貯蔵品	11,371	11,143
繰延税金資産	10,409	10,698
短期貸付金	113,133	77,756
その他	11,780	8,746
貸倒引当金	△497	△417
流動資産合計	329,320	295,778
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	132,861	131,715
減価償却累計額	△90,637	△89,771
建物及び構築物（純額）	42,223	41,944
機械装置及び運搬具	146,935	150,870
減価償却累計額	△125,860	△128,809
機械装置及び運搬具（純額）	21,075	22,060
土地	54,620	54,281
建設仮勘定	13,501	22,785
その他	47,795	50,109
減価償却累計額	△41,297	△42,915
その他（純額）	6,498	7,193
有形固定資産合計	137,919	148,266
無形固定資産		
のれん	163,713	169,581
販売権	46,519	70,494
その他	1,841	1,452
無形固定資産合計	212,073	241,528
投資その他の資産		
投資有価証券	24,602	24,426
繰延税金資産	3,893	5,571
その他	11,638	15,013
貸倒引当金	△191	△188
投資その他の資産合計	39,942	44,823
固定資産合計	389,936	434,618
資産合計	719,257	730,396

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	22,589	21,671
短期借入金	6,207	4,857
コマーシャル・ペーパー	—	30,000
未払金	36,519	31,858
未払法人税等	10,483	5,905
売上割戻引当金	1,217	1,391
ポイント引当金	254	307
賞与引当金	342	4,187
その他	7,462	8,200
流動負債合計	85,076	108,380
固定負債		
繰延税金負債	11,807	15,803
退職給付引当金	19,196	2,847
役員退職慰労引当金	134	140
環境対策引当金	266	102
工場再編損失引当金	3,390	3,310
資産除去債務	374	314
その他	3,597	3,576
固定負債合計	38,765	26,094
負債合計	123,841	134,475
純資産の部		
株主資本		
資本金	26,745	26,745
資本剰余金	512,328	512,326
利益剰余金	65,888	64,241
自己株式	△26,632	△26,652
株主資本合計	578,329	576,661
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,414	2,235
為替換算調整勘定	14,214	16,712
その他の包括利益累計額合計	15,628	18,948
新株予約権	306	310
少数株主持分	1,150	—
純資産合計	595,415	595,921
負債純資産合計	719,257	730,396

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年9月30日)
売上高	252,103	238,936
売上原価	94,839	92,349
売上総利益	157,264	146,587
販売費及び一般管理費		
研究開発費	30,723	32,495
のれん償却額	8,648	9,318
その他	76,482	78,495
販売費及び一般管理費合計	115,854	120,309
営業利益	41,409	26,277
営業外収益		
受取利息	574	541
受取配当金	534	262
為替差益	654	75
デリバティブ評価益	568	—
その他	661	671
営業外収益合計	2,994	1,551
営業外費用		
支払利息	205	144
デリバティブ評価損	—	654
持分法による投資損失	3,590	1,600
固定資産処分損	502	587
その他	900	1,043
営業外費用合計	5,199	4,029
経常利益	39,203	23,800
特別利益		
受取保険金	—	308
関係会社株式売却益	3,217	—
固定資産売却益	1,065	—
投資有価証券売却益	673	—
特別利益合計	4,956	308
特別損失		
減損損失	—	863
火災による損失	—	254
関係会社株式売却損	—	233
事業構造改善費用	—	170
工場再編損失引当金繰入額	3,390	—
関係会社株式評価損	140	—
投資有価証券売却損	131	—
特別損失合計	3,661	1,521
税金等調整前四半期純利益	40,498	22,586
法人税等	17,107	10,550
少数株主損益調整前四半期純利益	23,391	12,036
少数株主利益	67	—
四半期純利益	23,323	12,036

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成25年1月1日 至 平成25年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成26年1月1日 至 平成26年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	23,391	12,036
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	3,361	821
為替換算調整勘定	10,015	2,279
その他の包括利益合計	13,377	3,101
四半期包括利益	36,768	15,137
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	36,561	15,137
少数株主に係る四半期包括利益	207	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成25年1月1日至平成25年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	医薬	バイオ ケミカル	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
売上高					
外部顧客への売上高	191,718	60,385	252,103	—	252,103
セグメント間の内部売上高	1,063	1,200	2,264	△2,264	—
計	192,781	61,585	254,367	△2,264	252,103
セグメント利益	36,963	4,509	41,472	△63	41,409

注1. セグメント利益の調整額△63百万円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成26年1月1日至平成26年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	医薬	バイオ ケミカル	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
売上高					
外部顧客への売上高	177,795	61,140	238,936	—	238,936
セグメント間の内部売上高	877	1,620	2,498	△2,498	—
計	178,673	62,761	241,434	△2,498	238,936
セグメント利益	20,613	5,665	26,279	△1	26,277

注1. セグメント利益の調整額△1百万円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 「医薬」セグメントの資産の金額が前連結会計年度末に比べて47,036百万円増加しておりますが、その主な要因は、Archimedes Pharma Limitedの全株式を取得し、当第3四半期連結会計期間より同社及びその子会社12社(医薬セグメント)を新たに連結の範囲に含めたことによる増加であります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「医薬」セグメントにおいて、平成26年8月5日に、Archimedes Pharma Limitedの全株式を取得したことにより、のれんの金額に重要な変動が生じております。なお、当該事象によるのれんの増加額は、当第3四半期連結累計期間においては12,635百万円であります。

※ 取得原価の配分が完了していないため、入手可能な合理的な情報に基づき、暫定的な会計処理を行っております。